

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0132

令和5年度行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	京都迎賓館参観経費			担当部局庁	迎賓館	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	迎賓館京都事務所	事務所長 押切 哲夫	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	観光立国推進基本計画(令和5年3月31日閣議決定) 観光ビジョン実現プログラム2020(令和2年7月観光立国推進 閣僚会議決定)		
政策	18 迎賓施設			主要経費	その他の事項経費		
施策	56 迎賓施設の適切な管理・運営						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/index.html						
事業の目的 (5行程度以内)	迎賓館は国賓等の接遇のための施設としての性質上、非公開を原則とする一方、国賓等が利用していない一定期間に限り、無料で特別に公開してきたところである。本事業は、平成28年度より、国有財産を有効に活用する観点から、現役の迎賓施設として文化的価値を維持しつつ、我が国の伝統的技能が数多く活用された施設の魅力を広く国民及び世界へ発信し、観光立国にも資することを目的に一般公開を有料で行っているものである。						
現状・課題 (5行程度以内)	今後も一般公開の魅力を更に向上させ、参観者の満足度を高めるとともに、迎賓館の迎賓施設としての意義や京都迎賓館が有する伝統技能等の価値の理解を促進することが必要。また、新型コロナウイルス感染症の収束による参観者数の回復を見据え、オーバーツーリズムに適切に対応することが必要。						
事業概要 (5行程度以内)	国賓等の接遇等に支障のない限り、通年で一般公開を実施する。夜間公開や文化体験型の特別企画等を実施することで、参観者の満足度向上を図る。また、旅行者やホテルとの意見交換等を通じ、ニーズの把握を図りつつ、効果的な一般公開の取組を進める。						
事業概要URL	https://www.geihinkan.go.jp/kyoto/						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	274	254	243	235	234
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	274	254	243	235	234		
執行額(G)	103	148	136				
執行率(%) =(G)/(F)	38%	58%	56%				
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	38%	58%	56%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	迎賓施設運営費					
	(目)	迎賓施設業務庁費	235	234			
		その他					
	計(A)	235	234				

活動内容① (アクティビティ)	接遇等に支障のない範囲で可能な限り通年で一般公開を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	参観者数の回復	①参観者数 ※ガイドツアー方式、1日当たり	活動実績	人	121	104	155			
			当初見込み	人	100	245	220	283		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	多くの参観者に迎賓館の施設、装飾、調度品、植栽などを観賞していただく機会を設けるとともに、夜間公開や文化体験型の特別企画等を実施することで、迎賓館の持つ魅力を知ってもらうことが重要であるため、参観者の満足度を短期アウトカムとして設定した。 なお、オーバーツーリズムについて多くの観光施設等で問題化していることも承知しており、参観者数の増加が参観者の満足度の低下に影響する可能性にも十分留意しながら事業を実施する必要がある。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
	参加者の満足度	一般公開の参加者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	成果実績	%	1	0.5	0.6	-		
			目標値	%以下	7	7	2	2		
達成度			%	100	100	100	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	京都迎賓館一般公開における参観者アンケート調査									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	接遇に支障のない範囲で可能な限り、通年で一般公開の実施を通じて、我が国及び迎賓館の魅力を外内に発信することにより、参観者の高い満足度を得ていくことで、迎賓施設としての意義及び京都迎賓館が有する伝統技能等の価値に対する理解度の向上につながり、ひいては、国有財産の活用や観光立国の実現といった国の政策の推進にも寄与するものであることから、理解度の向上を長期アウトカムとして設定した。 なお、本事業の目標最終年度はないが、本成果目標に係る目標値として、参観者数全体として、令和5年度は90%以上とする。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
	参観を通じた理解の促進	参観者アンケート調査で「参観を通じて、迎賓館の迎賓施設としての意義や京都迎賓館が有する伝統技能等の価値を感じた」と答えた人の割合	成果実績	%	-	-	82.7	-		
			目標値	%	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	京都迎賓館一般公開における参観者アンケート調査 (設定した成果目標は、迎賓館一般公開実施要領(平成30年10月1日内閣官房長官決定)において、一般公開実施の目的とされている。)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)		接遇等に支障のない範囲で可能な限り、通年で的一般公開を実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		参観者数の回復	②外国人参観者数	活動実績	人	68	100	553			
				当初見込み	人	1,300	170	230	1,000		
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
		多くの参観者に迎賓館の施設、装飾、調度品、植栽などを観賞していただく機会を設けるとともに、夜間公開や文化体験型の特別企画等を実施することで、迎賓館の持つ魅力を知ってもらうことが重要であるため、参観者の満足度を短期アウトカムとして設定した。 なお、オーバーツーリズムについて多くの観光施設等で問題化していることも承知しており、参観者数の増加が参観者の満足度の低下に影響する可能性にも十分留意しながら事業を実施する必要がある。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
		参加者の満足度	一般公開の参加者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合	成果実績	%	1	0.5	0.6	-		
				目標値	%以下	7	7	2	2		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		京都迎賓館一般公開における参観者アンケート調査									
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
		接遇に支障のない範囲で可能な限り、通年で的一般公開の実施を通じて、我が国及び迎賓館の魅力を内外に発信することにより、参観者の高い満足度を得ていくことで、迎賓施設としての意義及び京都迎賓館が有する伝統技能等の価値に対する理解度の向上につながり、ひいては、国有財産の活用や観光立国の実現といった国の政策の推進にも寄与するものであることから、理解度の向上を長期アウトカムとして設定した。 なお、本事業の目標最終年度はないが、本成果目標に係る目標値として、参観者数全体として、令和5年度は90%以上とする。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
		参観を通じた理解の促進	参観者アンケート調査で「参観を通じて、迎賓館の迎賓施設としての意義や京都迎賓館が有する伝統技能等の価値を感じた」と答えた人の割合	成果実績	%	-	-	82.7	-		
				目標値	%	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		京都迎賓館一般公開における参観者アンケート調査 (設定した成果目標は、迎賓館一般公開実施要領(平成30年10月1日内閣官房長官決定)において、一般公開実施の目的とされている。)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由 - アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由 -									
事業に関連する KPIが定められて いる関係決定 等		名称									
		URL									
		該当箇所									

事業所管部局による点検・改善												
点検結果	<p>参観者数は令和3年度に比べ回復の傾向にはあるが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いコロナ禍前の水準には遠く及ばない状況にあり、可能な限り通年で一般公開を実施するとともに、引き続き運営等業務の人員配置を見直すことなどにより経費の削減に努めた。また、夜間公開や旅行者と連携した特別企画の実施日数を増やすなど、可能な限り集客に努めた。(令和4年度の実績は、日数282日、参観者数43,514人)</p>								目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)			
	<p>外国人観光客の訪日は回復傾向にあり、かつ新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げられその影響は和らぎつつあるが、必要な感染拡大防止策は引き続き講じた上で、観光立国の実現に資するよう更なるニーズの把握に努め、参観者の満足度向上及び参観者の獲得に向け、Twitterや迎賓館PR動画などの活用により、効果的な一般公開の広報を実施する。通常の参観とは異なる体験を含むプレミアムガイドツアーや京都迎賓館文化サロンなど伝統技能等呼び水とした特別企画の積極的実施、6か国語対応の参観アプリの周知・活用など多様な取組を進め、一般公開の更なる魅力向上を図り参観者数の確保に努める。</p>											
改善の方向性	<p>外国人観光客の訪日は回復傾向にあり、かつ新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げられその影響は和らぎつつあるが、必要な感染拡大防止策は引き続き講じた上で、観光立国の実現に資するよう更なるニーズの把握に努め、参観者の満足度向上及び参観者の獲得に向け、Twitterや迎賓館PR動画などの活用により、効果的な一般公開の広報を実施する。通常の参観とは異なる体験を含むプレミアムガイドツアーや京都迎賓館文化サロンなど伝統技能等呼び水とした特別企画の積極的実施、6か国語対応の参観アプリの周知・活用など多様な取組を進め、一般公開の更なる魅力向上を図り参観者数の確保に努める。</p>											
外部有識者の所見												
点検対象外												
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見												
現状通り	<p>ポストコロナを見据えつつ、効率的かつ効果的な参観手法の在り方等の検討を継続して行うとともに、執行実績を適切に概算要求に反映させること。一者応礼となった要因を検証し、競争性が確保されるよう事業の実施に努めること。</p>											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
現状通り	<p>必要な感染拡大防止策を引き続き講じながら安心・安全な参観の実施に努め、参観者から高い満足度が引き続き得られるよう、効率的かつ効果的な参観手法のあり方の検討を行う。また、運営業務等の概算要求にあつては、執行実績やコスト抑制を意図した参観方式ごとの予定日数の設定、真に必要な要員の配置を踏まえた適切な概算要求に努める。調達については、事業者から応礼となる要因の聞き取りを行って仕様等に反映し、引き続き、競争性の確保に努める。</p>											
過去に受けた指摘事項と対応状況	<p>公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ</p> <p>・平成28年度公開プロセス対象事業 取りまとめコメント: 迎賓館は新たに観光資源として位置付けられ、参観は賓客接遇という本来業務とは期間を区分けして対応することとなる。その際の参観者への対応と賓客の接遇機能との調整を十分に図りながら、これを進める必要がある。本件の参観経費についてはまだ過渡期ではあるが、従来の限定した公開時の対応や契約形態等にとらわれることなく、通年公開によって増えるコストの抑制について、参観料のレベルも含めて検討していく必要がある。</p>											
	<p>上記への対応状況</p> <p>・平成28年度公開プロセスの取りまとめコメントを受けた対応 事業概要に述べたとおり、一般公開運営業務等を民間に委託するとともに、多言語対応を含め、参観者の満足度向上に努めた。この結果、平成28年度の実績は、公開日数125日、参観者数約95,000人となり、参観者の満足度も高い結果となった。コストの抑制については、施設への影響による維持管理費の増の見直しや参観者の満足度向上に必要な経費も勘案し、参観料のレベルも含めて検討していく。</p>											
	<p>その他の指摘事項</p>											
	<p>上記への対応状況</p>											
	<p>備考</p>											
	<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>											
平成23年度	0157											
平成24年度	0151											
平成25年度	0107											
平成26年度	0105											
平成27年度	0112											
平成28年度	0100											
平成29年度	0104											
平成30年度	0111											
令和元年度	内閣府	-			0121							
令和2年度	内閣府				0122							
令和3年度	2021	府	20	0136								
令和4年度	2022	府	21	0134								

内閣府 136百万円
○参観の運営等を実施する事業者に業務を委託
○参観に必要な備品・消耗品等を購入、レンタル

【一般競争入札(最低価格)】

A.総合警備保障(株)
110百万円

一般公開運営業務

【一般競争入札(最低価格)】

B.(株)コトナ
17百万円

一般公開警備業務

【一般競争入札(最低価格)】

C.(株)JECC
4百万円

券売機等の賃借

【随意契約(少額随契)】

D.民間会社6社
2百万円

一般公開に必要な備品・消

【随意契約(少額随契)】

E.民間会社10社
3百万円

京都迎賓館公開にかかる
諸雑費

資金の流れ

(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。費目と使途の双方で実情が 分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	公開スタッフ等経費	109.7	人件費	警備スタッフ等経費	17.4
	計		109.7	計		17.4
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	借料及び損料	券売機の賃借料	3.9	備品費	ワイヤレスガイド機器の購入	0.6
				消耗品費	耳掛型イヤホン購入	0.1
	計		3.9	計		0.7
	E.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
雑役務費	キャッシュレス(クレジットカード等)決済利用による参観料の立替 払い業務等	0.6				
計		0.6	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	総合警備保障株式会社	3010401016070	京都迎賓館一般公開運営業務	109.7	一般競争契約 (最低価格)	2	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社コトナ	7130001009500	京都迎賓館一般公開警備業務	17.4	一般競争契約 (最低価格)	3	-	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社JECC	2010001033475	京都迎賓館一般公開に係る 券売機等の賃借業務	3.9	一般競争契約 (最低価格)	1	-	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	近畿音響工業株式会社	6130001014286	ワイヤレスガイド機器の購入 等	0.7	随意契約(少 額)	-	-	
2	株式会社ソーリツ	3011201002921	清和院休憩所サイン製作取 付(備品費分)	0.7	随意契約(少 額)	-	-	
3	株式会社上田屋	8130001019952	参観用品の購入	0.6	随意契約(少 額)	-	-	
4	株式会社田中プリント	6130001001301	リーフレット及びポスター印刷	0.3	随意契約(少 額)	-	-	
5	グローリー株式会社	5140001058614	券売機用感熱紙(領収書用) 購入	0.1	随意契約(少 額)	-	-	
6	高石機械産業株式会社	4130001021466	フィンガースプレー式キャップ ボトルの購入	0	随意契約(少 額)	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日本経済情報センター	6010401078554	京都迎賓館に係る参観者のキャッシュレス(クレジットカード等)決済利用による参観料の立替払い業務(種別B)等	0.6	随意契約(少額)	-	-	
2	京都市交通局	2000020261009	京都迎賓館広報ポスター掲出業務(京都市交通局)	0.5	随意契約(少額)	-	-	
3	阪急阪神マーケティングソリューションズ株式会社	9120001226128	京都迎賓館広報ポスター・デジタルサイネージ掲出業務	0.4	随意契約(少額)	-	-	
4	株式会社ソーリツ	3011201002921	清和院休憩所サイン製作取付	0.4	随意契約(少額)	-	-	
5	グローリー株式会社	5140001058614	京都迎賓館券売機等移設作業	0.3	随意契約(少額)	-	-	
6	叡山電鉄株式会社	4130001005989	京都迎賓館広報ポスター掲出業務	0.2	随意契約(少額)	-	-	
7	株式会社ジェーシービー	8010401050511	京都迎賓館に係る参観者のキャッシュレス(クレジットカード等)決済利用による参観料の立替払い業務(種別A)	0.2	随意契約(少額)	-	-	
8	株式会社サニクリーン近畿	4120901006476	フロアマット賃貸借業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	
9	個人A	-	第7回京都迎賓館文化サロン企画・講演料	0.1	随意契約(少額)	-	-	
10	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	テーブル反訳(第7回京都迎賓館文化サロン)	0	随意契約(少額)	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	